



みどり・
スポーツ・
災害対策

東電グランド跡地活用で 公園、調整池、スポーツ施設

田中前区長が直接東京都と交渉
10数年を経て今年度いよいよ完成に!

ご存じですか。東日本大震災後、田中前区長自ら東京都に働きかけ、東京電力所有のグランドを「公園・スポーツ施設・水害対策の調整池」として整備することになった工事が、10数年を経て今年度完成します。

すでに下高井戸おおぞら公園はオープンしていますが、地下に調整池を設け、その上をスポーツ施設とする工事が今最終段階です。これにより約30000㎡(25メートルプール100杯分)の水の貯留が可能となり、大雨の時の下高井戸から環七方面の神田川流域の河川の氾濫防止に大きく寄与することになります。

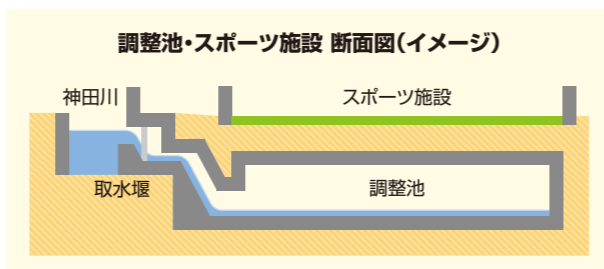
——田中さん、いよいよこのプロジェクトが完成するのですね。

田中良:本当に感慨深いものがあります。今年で東日本大震災から15年。原発事故を受け東京電力が保有していたグランド売却の話が出たときに、私自ら東京都に行って交渉し、**公園とスポーツ施設、河川管理者である東京都がグランド地下を調整池として整備するスキーム**を作りました。

こうした施設の整備には時間がかかりますが、行政の役割は将来を見据えて調整力を発揮し、事業を進める事だと思えます。それには、トップのリーダーシップが必要です。

「区が反対運動をおおっているとしか見えない」(都政新報5月19日号)
～対照的な岸本区政の善福寺川調整池問題～

東電グランド跡地活用と対照的なのが善福寺川調整池問題です。
昨年7月に東京都と杉並区との間で調整池工事の



基本協定が取り交わされましたが、2026年5月10日、岸本区長は東京都に対して工事の着工延期を要望し混乱が生じています。

こうした工事に対してはいろいろな意見がありますが、協定書に「区は都と連携・協力して地元説明を行っていく」とあるにもかかわらず、岸本区長は一部の抗議団体の側に立って調整池工事を引き延ばしているのです。

この事について、東京都のある幹部は「区が反対運動をおおっているようにしか見えない」(都政新報5月19日号)と述べています。

田中良
前杉並区長
プロフィール

杉並の勇氣

昭和35年(1960年)・杉並区生まれ、杉並区育ち。
杉並ひまわり幼稚園～桃五小～獨協中・高～
明治大学政経学部卒。
テレビ東京入社後、
平成2年 衆院選に徒手空拳で出馬、落選。
平成3年 杉並区議選に最年少トップ当選。
平成5年 東京都議選に当選、以後連続5期当選。
平成21年 東京都議会議長就任。
平成22年 杉並区長に当選、以降3選。
令和4年 杉並区長選187票差で惜敗。
令和5年 著書「公文書に載らない東京都政と杉並区政」刊行。
自治体にまつわる様々な問題についてマスコミ等で発信中。

公式サイト

田中良サポーターズ公式

友だち追加を
お願いします!

公式LINE

杉並区政や
地域の話

YouTube

前杉並区長

田中良 サポーターズ 通信 Vol.16



今も花開く 田中前区長の施策

行政の施策の実現は、東京都や国その他の関係者と調整しながら何年もの年月をかけて進めていくものが多くあります。
この4年間に田中良が区長時代に計画した施策がひとつひとつ花開いてきています。
今回はそのいくつかをご紹介します。

区立ドッグラン広場



動物との共生



愛犬サーシャと散歩途中の田中良

「広々したところで愛犬と過ごしたい」という願いは多くの愛犬家の皆さん共通のものです。しかし、そうした場所の確保は難しい。なんとかその願いを実現できないか、と田中前区長は地元都議との連携で東京都に働きかけ、都立和田堀公園内に区立のドッグラン広場を計画しました。

そして施設の整備を整え、令和6(2024)年3月にオープンし、多くの愛犬家たちに喜ばれています。

阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりで河北総合病院が移転改築



福祉・医療・まちづくり

全国的に病院の閉鎖が相次ぐ中で、田中前区長がリーダーシップを発揮して取り組んできた「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり」で、老朽化した河北総合病院を昨年6月に移転改築。病院の機能を充実させて地域医療基盤が向上し、全国的に注目されました。

この計画に対して現岸本区長の支持団体は、前回の選挙時に「プロセスが不透明」「住民合意がない」「タワーマンションを計画」などとデマをばらまき、地域の中に「新たな分断」を持ち込みました。

岸本区長も区長就任後、計画をゼロベースで見直すとし「まちづくりを振り返る会」などを開催して前区政の検証を行いました。結局令和6(2024)年1月、自ら「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりは計画通りに実施する」と記者会見をする始末に。これにより移転計画も遅れましたが、資材高騰の中無事に令和7(2025)年6月、河北総合病院の移転改築は完了しました。



田中良と描く未来の杉並マップ

行政は長期的視点での取り組みが必要です。

この4年間、田中前区長が取り組んできた施策のひとつひとつが花開いてきています。そのいくつかをご紹介します。

荻外荘が開園



文化

皆さん、「荻外荘(てきがいそう)」をご存じですか。ここは戦前の首相・近衛文麿の別邸で、歴史的に重要な会談が行われた場所としても有名です。

田中前区長はこの場所を近衛文麿居住当時の姿で復元整備しようと「荻外荘復元整備プロジェクト」を計画しました。自ら近衛家をはじめ関係者、国と協議を重ねて取り組んできた荻外荘公園は令和6(2024)年12月に開園し、多くの人が訪れています。

台湾との交流



国際交流

田中良は都議会議長時代に所属会派の日台友好議員連盟会長として約30人の都議団を引率して訪台し、太いパイプを築きました。

平成23(2011)年に「野球を通して中学生の国際交流を」という軟式野球連盟の要望を受けて中学生野球親善交流を推進。

平成29(2017)年からは高円寺阿波おどりの台湾公演を実施しています。台湾公演は令和5(2023)年・令和7(2025)年にも行われ、現地で熱狂的に歓迎されました。